

北海道を中心とした円形校舎の現状比較

－北海道と円形校舎の関連性－

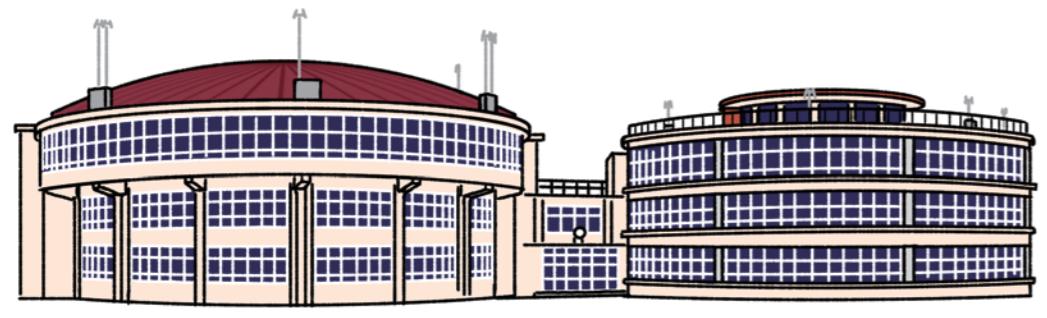
建築・環境デザイン学科 津村研究室 192020 澤口有紀

01 研究の背景・目的

私の地元の北海道室蘭市にある円形校舎、室蘭市立絵鞆小学校を調べた際に、絵鞆小学校以外にも円形校舎が全国各地に建てられていることを知った。また、円形校舎は坂本鹿名夫という人物が特許を取得し、全国各地に建てられている中でも北海道の建築数が多いことがわかった。

また、昭和30~40年代に多く建てられた円形校舎は近年、解体されていくものが多く、室蘭市の絵鞆小学校も解体の危機に迫られたが、市民によるクラウドファンディングによって、その危機を免れた。

この研究で、全国各地の円形校舎と同様に、北海道でも円形校舎の解体が進んでいく可能性が高い中で、北海道の円形校舎の現状をまとめ、なぜ北海道に円形校舎が多く建てられたのかを探り、円形校舎の価値認識や保存活用へのヒントとなる資料の作成や考察を行いたいと考えるに至った。



室蘭市の円形校舎 絵鞆小学校

02 円形校舎とは

文部省

太平洋戦争による被災からの復興
義務教育への環境整備
▼
大量に校舎を建築
技術的な面の違いによる
学校環境のばらつき
▼
日本建築学会と委員会を開いて
昭和22~29年モデル校指定
モデル校の校舎設計の普及へ

坂本鹿名夫

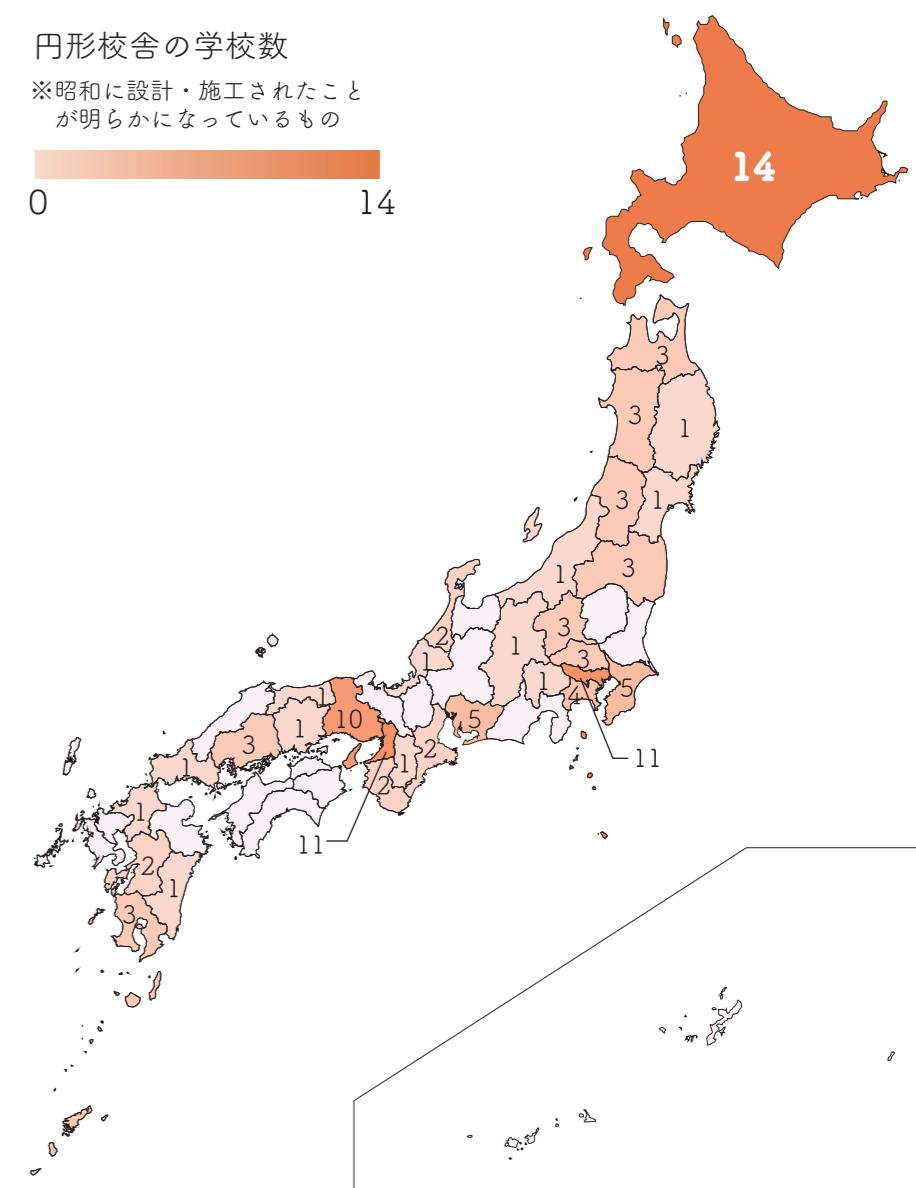
文部省のモデル校の校舎設計の
策定委員会に大成建設の
上司の代理として参加
▼
正円平面の校舎2棟の間に
矩形平面の体育館を挟む案を提案
▼
当初のモデル校には採用されず
昭和27年に金城高等学校で
円形校舎1棟のみ採用
▼
昭和29年に大成建設から独立

昭和22年頃からのベビーブームによって昭和30~40年代に教室不足が深刻化

全国で 110 校以上建てられた

03 円形校舎の全国分布

円形校舎の学校数
※昭和に設計・施工されたこと
が明らかになっているもの
0 14



04 円形校舎の形状

単円型



坂本鹿名夫が手がけた円形校舎の中で最も多い形状で、最上階にドーム型屋根の体育館が設けられているものもある
単円型の円形校舎を建てた後に、矩形平面の校舎や体育館を建てている場合もある

(例) 鳥取県倉吉市 明倫小学校

メガネ型



坂本鹿名夫が手がけた円形校舎の中で単円型に続いで多い形状で、2棟とも教室棟となっている場合、どちらか1棟の最上階にドーム型屋根の体育館が設けられている場合がある
メガネ型の円形校舎の教室棟の間に矩形平面の体育館が設けられているものもあり、これは坂本鹿名夫が初めて円形校舎を提案した時に実現できなかった形状に近い

(例) 北海道室蘭市 絵鞆小学校
青森県むつ市 大湊小学校 (矩形体育館あり)

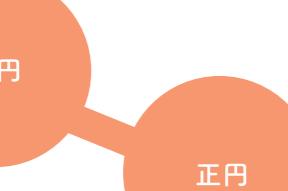
半円型



坂本鹿名夫が手がけた円形校舎の中でも数少ない形
鹿児島県に2校あったが、解体されている

(例) 鹿児島県鹿屋市 鹿屋小学校

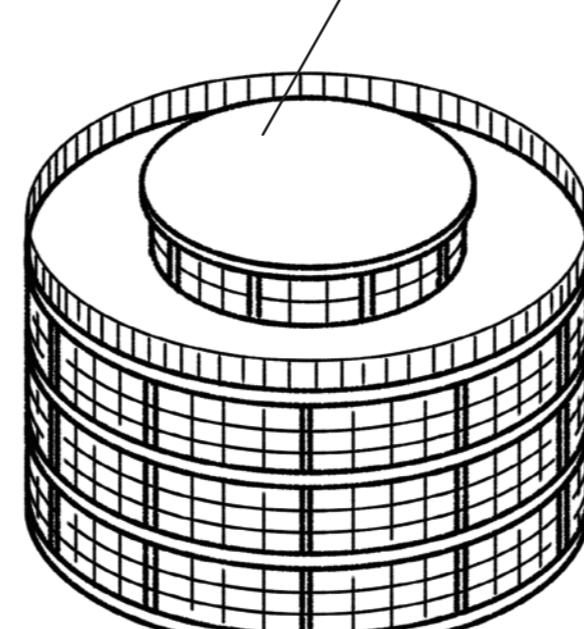
3棟連結型



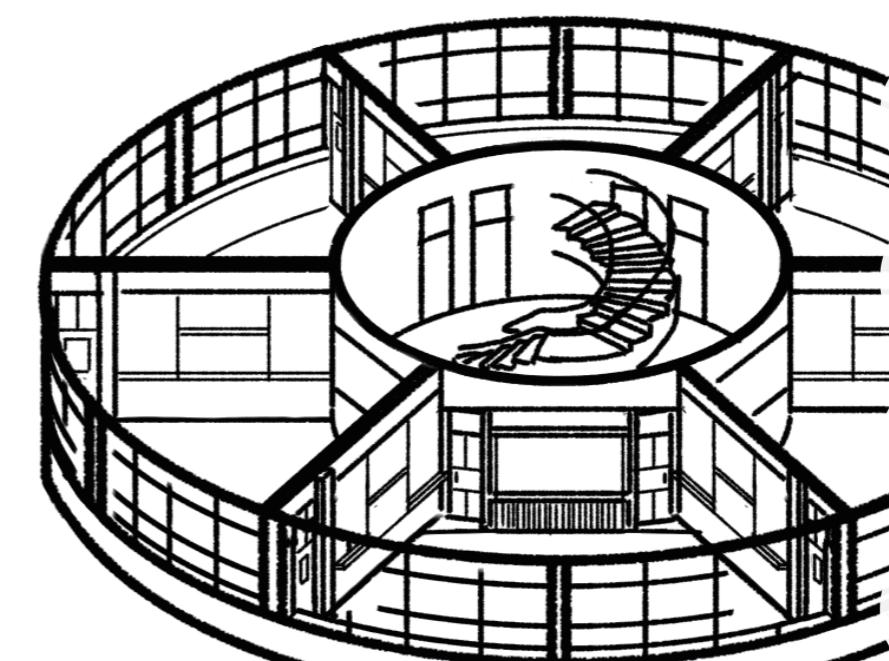
坂本鹿名夫が手がけた円形校舎の中でも、極めて珍しい3つの円が矩形平面の廊下で連結された形状
北海道に1校あったが、解体されている

(例) 北海道木古内町 木古内小学校

ペントハウス

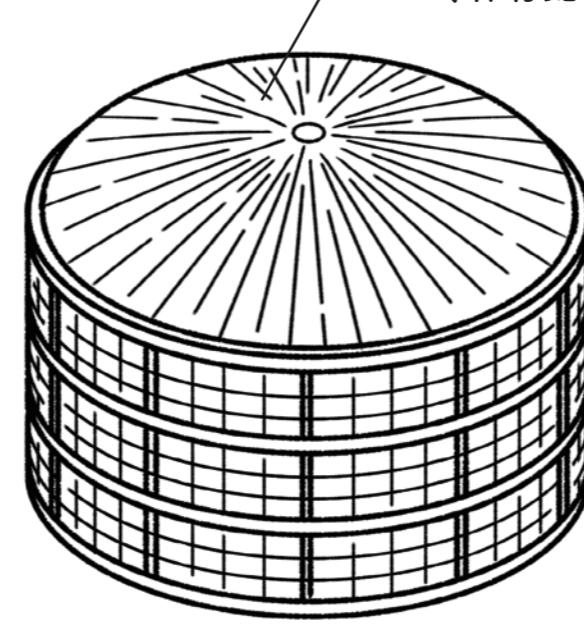


教室棟



教室棟内部

ドーム型屋根 (体育館)



体育館棟



絵鞆小学校 教室棟 螺旋階段

教室棟の主な特徴

- 中央に螺旋階段
- 螺旋階段を登るとペントハウス
- ペントハウスの天井に水玉状に埋め込まれたガラスから採光し、螺旋階段を照らす
- 円環を約6等分した扇型の教室
- 円の中心側に黒板
- 円の外側に隣の教室と直接出入りできる扉



絵鞆小学校 教室棟 ペントハウス

なぜ北海道に円形校舎が多く建てられたのか

北海道には坂本鹿名夫によって設計された円形校舎が8校あることがわかっているが、坂本鹿名夫が北海道の円形校舎を設計することになるまでの経緯は不明である

そこで、北海道と坂本鹿名夫の関連性を探り、北海道の地域性などからなぜ円形校舎が北海道に多く建てられたか考察する

手がかり

01

鳥取県の円形校舎である明倫小学校は、坂本鹿名夫の鳥取出身の親族が口利きしたことによって坂本鹿名夫が設計することになったと考えられている

▼
北海道と関わりのある人物も坂本鹿名夫の親族にいた場合、北海道の円形校舎の建築に関わっているのではないか

手がかり

03

北海道で初めて設計されたとされる円形校舎は大成建設によるものであるが、坂本鹿名夫が独立した後に完成している

▼
坂本鹿名夫が北海道の円形建築を初めて設計したのはいつなのか

手がかり

02

坂本鹿名夫の父親は日本赤十字社の副社長だったことがあり、坂本鹿名夫は日本赤十字社などの円形病棟も設計している

▼
北海道にも坂本鹿名夫によって設計された円形病棟が建てられていた場合、いつ頃に建てられたのか

手がかり

04

北海道では円形校舎が炭鉱の栄えた地域に建てられたり、同じ地域にいくつも建てられたりしている。

▼
円形校舎が建てられた地域同士の結びつきや共通点はあるのか

調査方法

北海道立図書館、室蘭市図書館、江別市情報図書館で、円形校舎のある各学校の記念誌や各市町村史、人名録から、円形校舎の建設時の状況や坂本鹿名夫の親族について情報を収集した。

また、図書館で情報を得ることができなかった部分は、各学校や各市町村のホームページなどから情報収集を行った。
収集した情報から、年表、や学校ごとの情報をまとめた表を作成し、手がかりからの仮説の検討を行った。

調査

01

坂本鹿名夫の親族

鳥取県の円形校舎は鳥取出身の衆議院議員の古井喜実が坂本鹿名夫の姉妹の配偶者であることが関係していると考えられる。このことを踏まえて調査をすると、坂本鹿名夫の親族に北海道と関わりのある家の系の人物がいたことが明らかになった。坂本鹿名夫の姉妹の配偶者の岩田健次郎は、北海道の家系に養子として迎えられた岩田宙造の息子である。岩田宙造は弁護士だったが、衆議院議員、司法大臣として政治活動にも力を入れていた。

